



2012年3月期

第2四半期 決算説明会

SMK株式会社

2011年10月27日



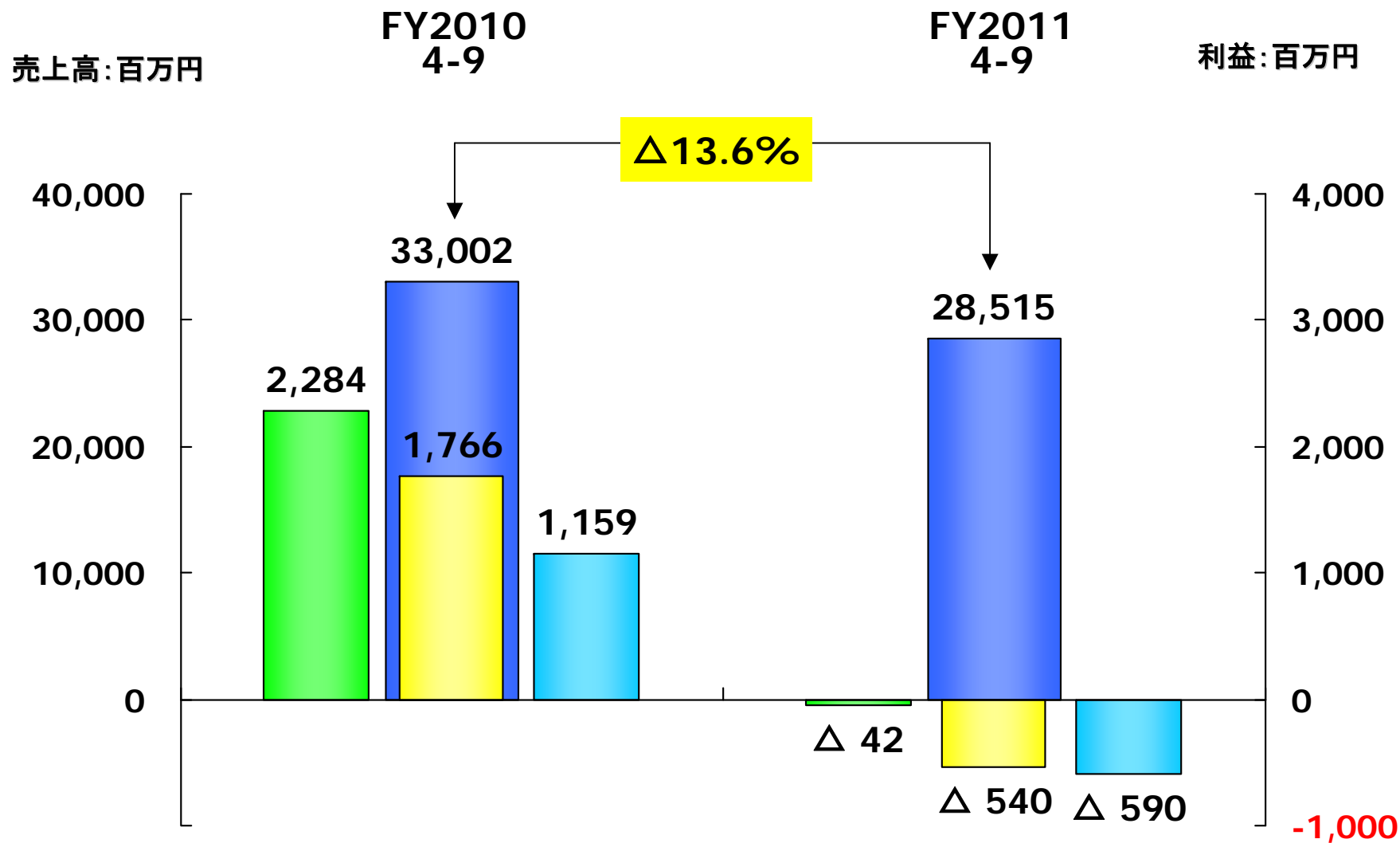
FY2011 2Q決算の概況

取締役 常務執行役員 山田 一



<連結>第2四半期業績

3/27



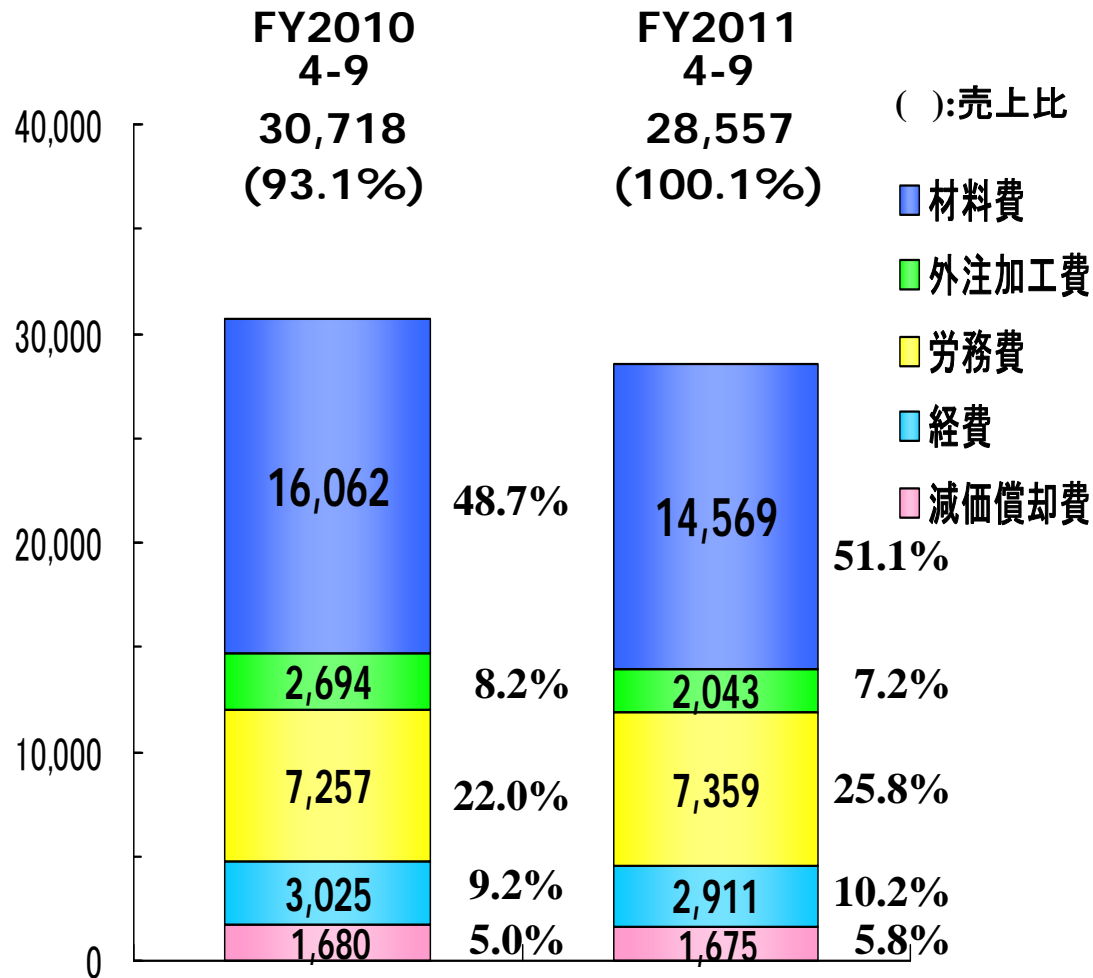
■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



<連結>営業費用

4/27

(単位:百万円)



〔(材料費+外注加工費)1.4%増加〕
56.9%→58.3% 409百万円

〔労務費 102百万円増加〕
中国の人件費増加、内作の推進

〔経費 114百万円減少〕
生産拠点における経費の抑制

営業利益 2,284
(6.9%)

△42
(△0.1%)

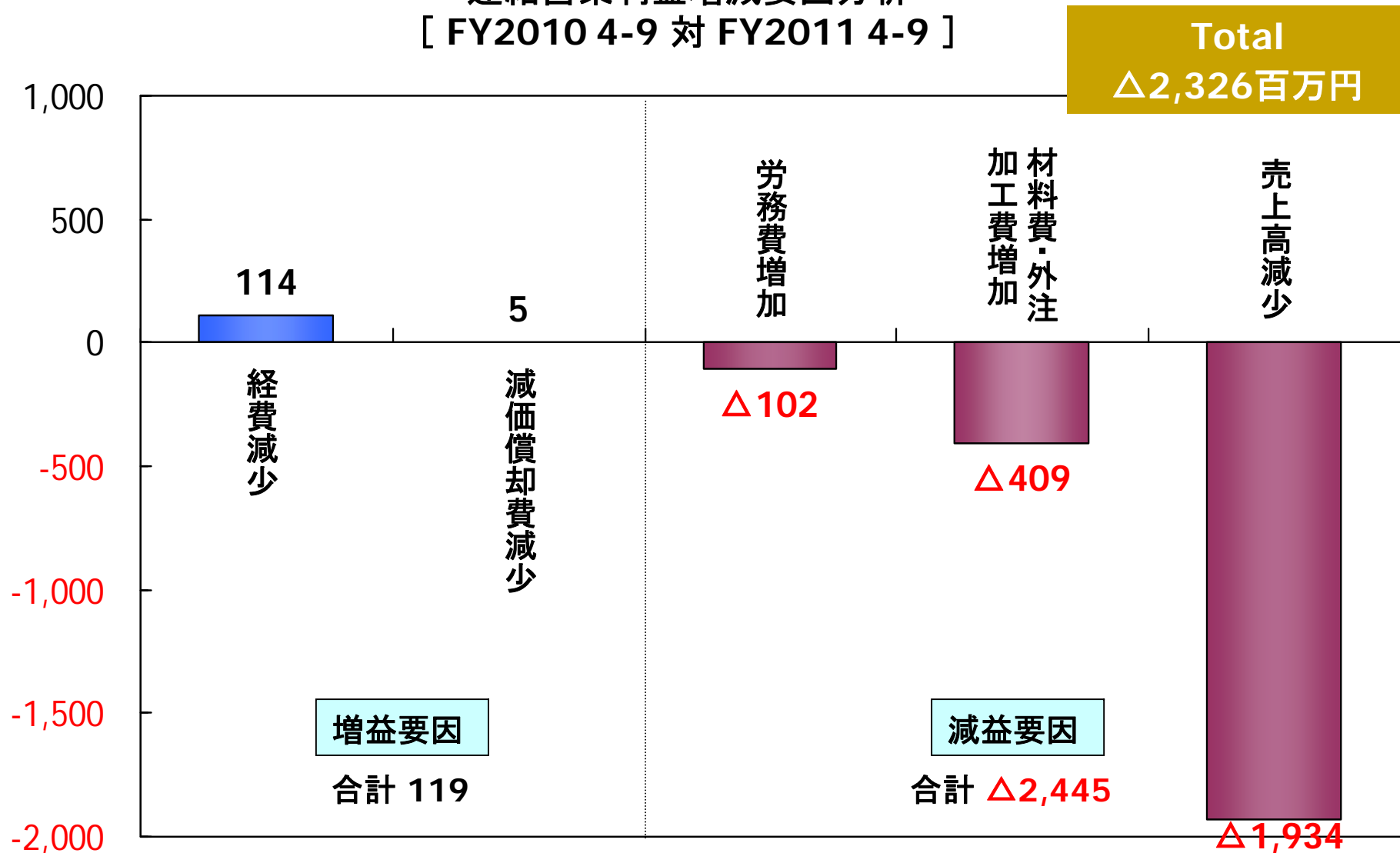


<連結> 営業費用分析

5/27

連結営業利益増減要因分析
[FY2010 4-9 対 FY2011 4-9]

(単位:百万円)





<連結> 営業外損益

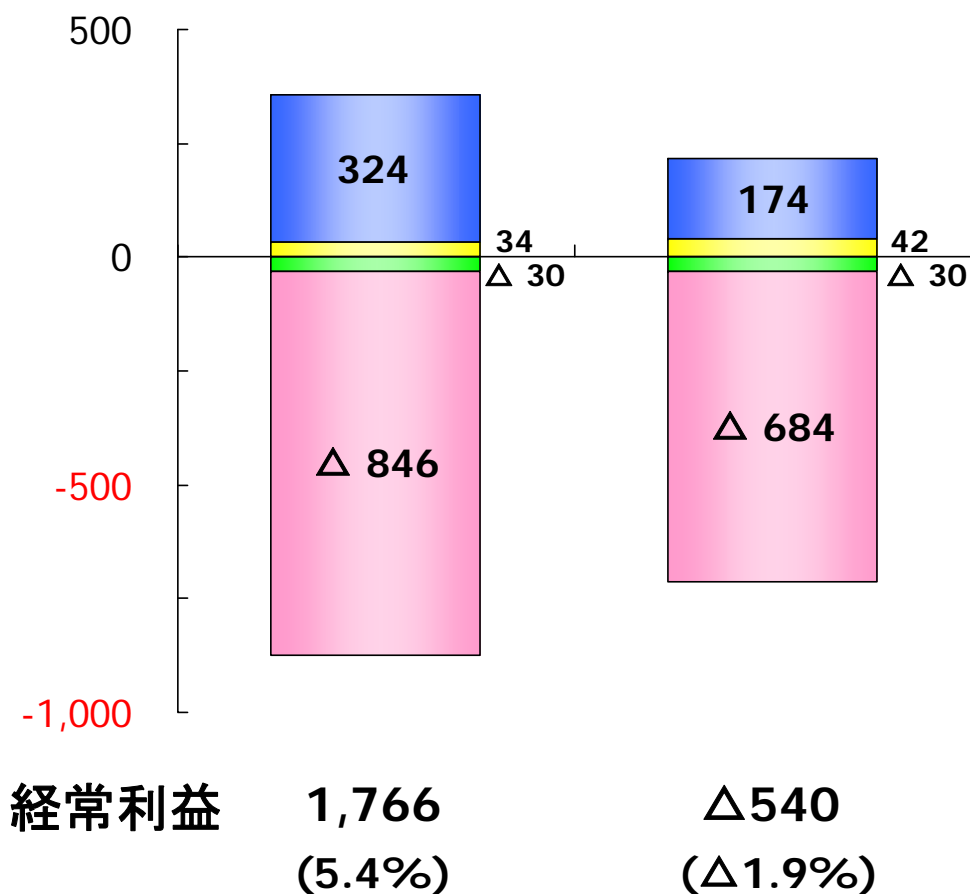
6/27

FY2010
4-9
△518
(△1.5%)

FY2011
4-9
△498
(△1.8%)

(単位:百万円)

():売上比



- 為替差損益
- 不動産収支
- 金融収支
- その他

[為替差損 162百万円減少]

1. 前期2Q

2010/3 ￥93.04/\$

2010/9 ￥83.82/\$ 9.22の円高

2. 当期2Q

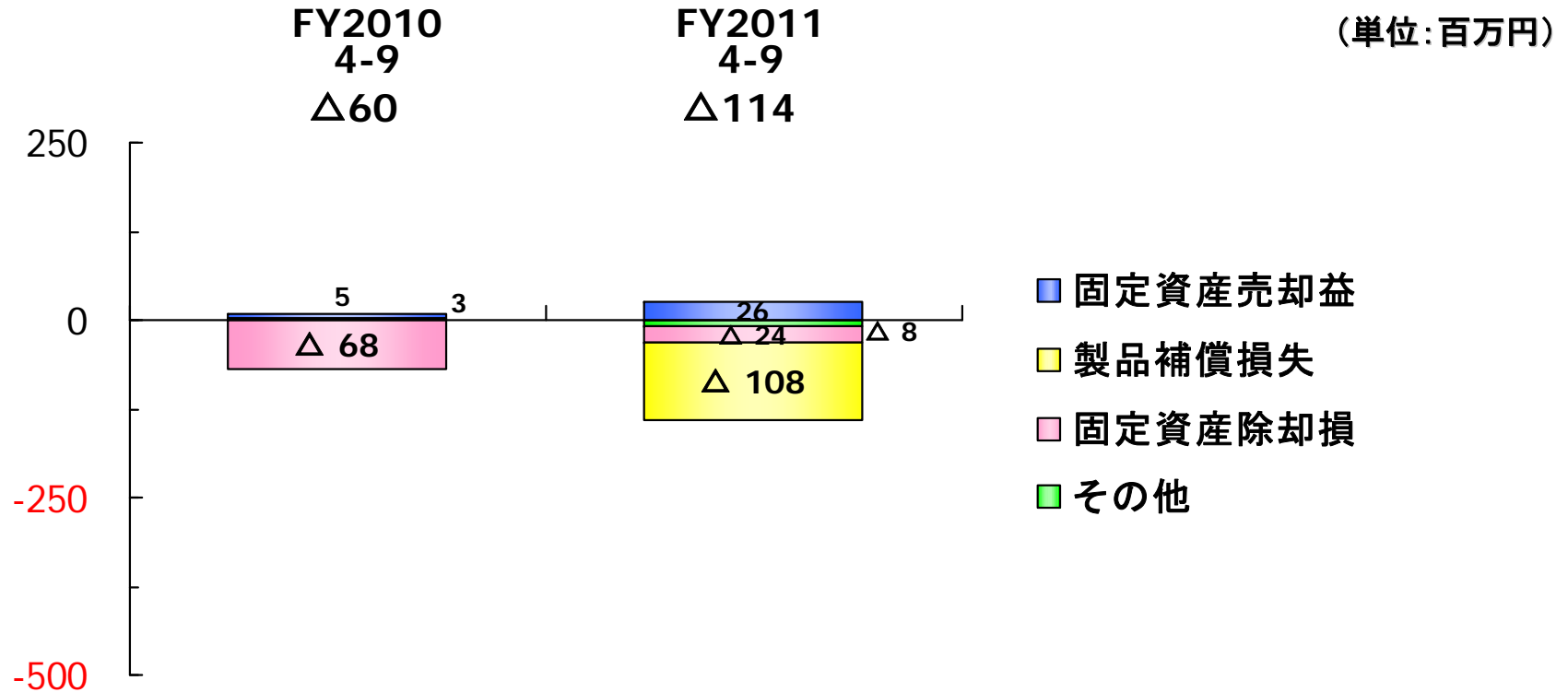
2011/3 ￥83.15/\$

2011/9 ￥76.65/\$ 6.50の円高



<連結>特別損益

7/27



税引前利益	1,706	Δ654
税金等(含税効果処理)	Δ547	64
当期純利益	1,159	Δ590
	(3.5%)	(Δ2.1%)

():売上比



<連結>業績推移(四半期別)

8/27

1. FY2011

(単位:百万円)

	上 期			下 期		通 期
	第1QTR (11/4~6) [実績]	第2QTR (11/7~9) [実績]	合 計 (11/4~9) [実績]	合 計 (11/10~12/3) [予想]		合 計 (11/4~12/3) [予想]
① 売上高	14,111	14,404	28,515	32,285		60,800
② 営業利益	47	△89	△42	742		700
③ 経常利益	△106	△434	△540	840		300
④ 当期純利益	△161	△429	△590	990		400

2. FY2010

(単位:百万円)

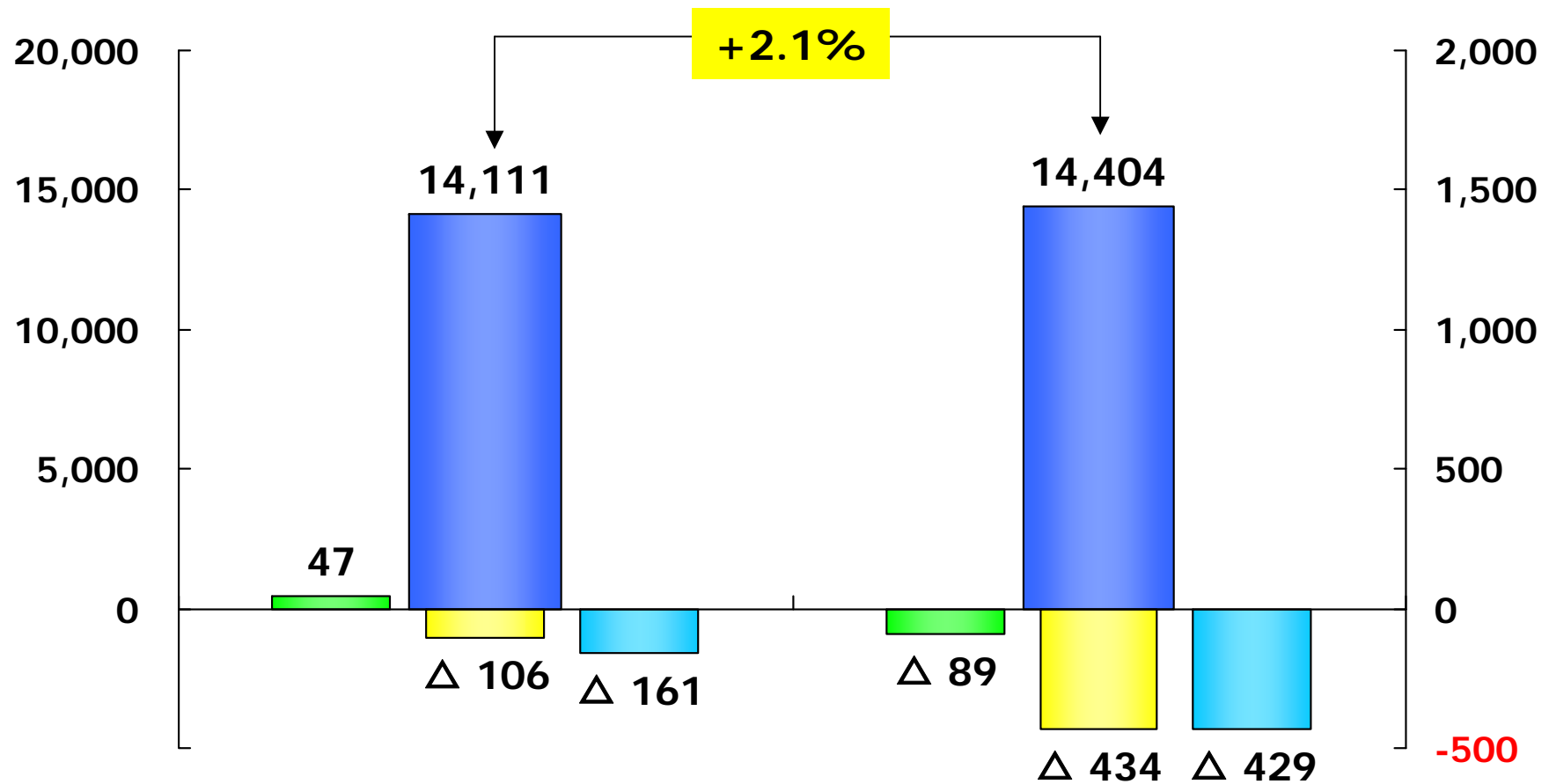
	上 期			下 期			通 期
	第1QTR (10/4~6)	第2QTR (10/7~9)	合 計 (10/4~9)	第3QTR (10/10~12)	第4QTR (11/1~3)	合 計 (10/10~11/3)	合 計 (10/4~11/3)
① 売上高	16,056	16,946	33,002	14,732	14,180	28,912	61,914
② 営業利益	1,215	1,069	2,284	355	115	470	2,754
③ 経常利益	937	829	1,766	297	442	739	2,505
④ 当期純利益	628	531	1,159	51	△173	△122	1,037



<連結> 第2四半期業績(対当期第1四半期)

9/27

売上高:百万円 FY2011 4-6 FY2011 7-9 利益:百万円



■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益

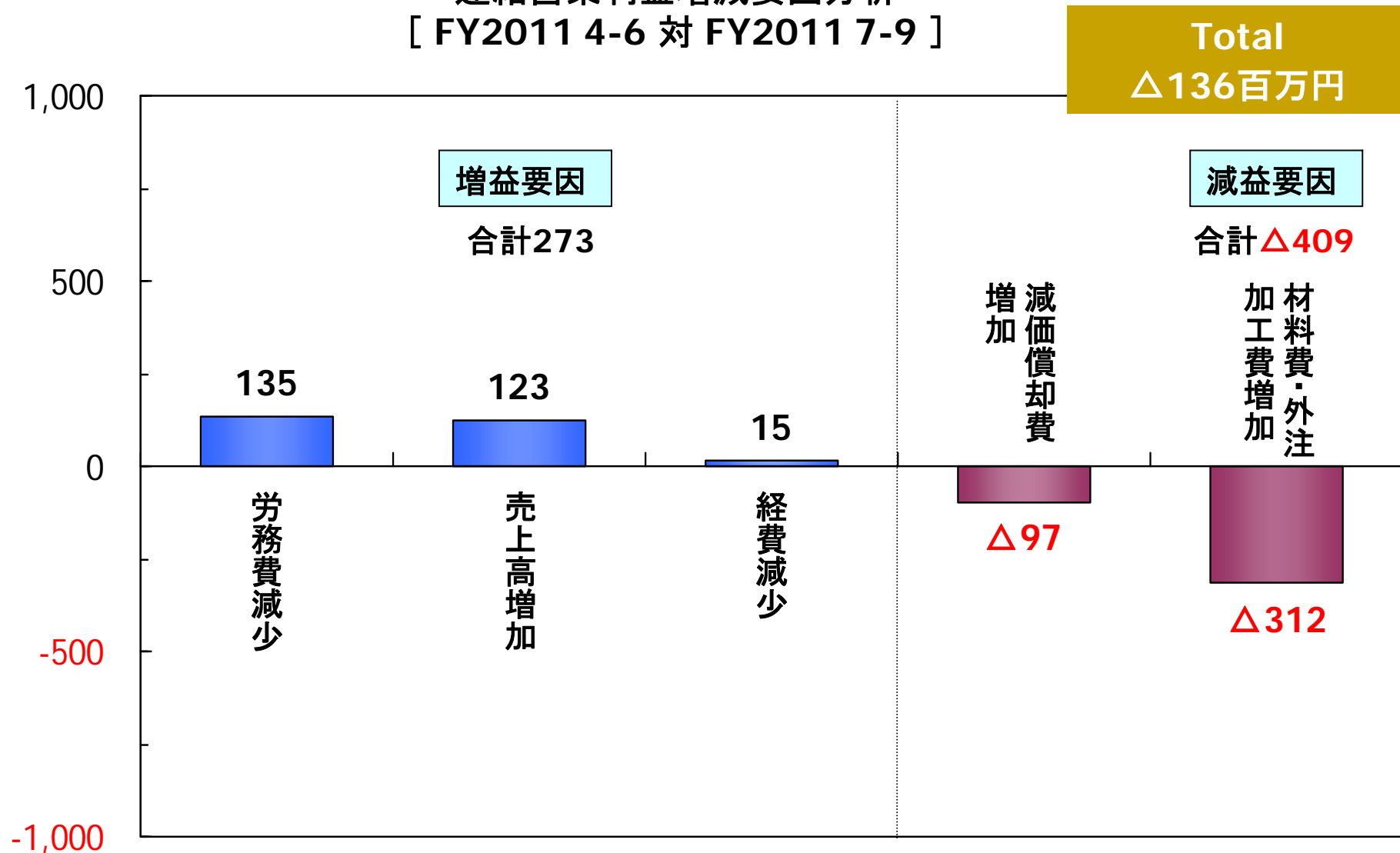


<連結> 営業費用分析(対当期第1四半期)

10/27

連結営業利益増減要因分析
[FY2011 4-6 対 FY2011 7-9]

(単位:百万円)





<連結>財政状態

11/27

(単位:百万円)

	2011/3 (A)	2011/9 (B)	増減 (B-A)
資産	53,059	51,611	△1,448
現預金	7,442	6,810	△632
受取手形及び売掛金	14,841	15,305	464
棚卸資産	5,672	5,556	△116
固定資産	21,205	20,366	△839
負債	23,197	23,545	348
買掛金及び未払金	10,981	10,302	△679
有利子負債	8,926	10,393	1,467
純資産	29,862	28,066	△1,796
資本金	7,996	7,996	—
自己資本比率	56.0%	54.1%	△1.9%



＜連結＞キャッシュ・フローの状況

12/27

(単位:百万円)

	FY2010 4-9	FY2011 4-9
営業キャッシュフロー	2,783	162
運転資金	370	△980
税引前利益	1,706	△654
減価償却費	1,659	1,635
その他	△952	161
投資キャッシュフロー	△1,791	△1,887
フリーキャッシュフロー	992	△1,725
財務キャッシュフロー	△2,203	1,137
有利子負債の増減額	△1,529	1,502
自己株式の増減額	△85	△75
配当金の支払金額	△589	△290
現金等期首残高	8,749	7,382
現金等期末残高	7,335	6,695



＜連結＞セグメント情報

13/27

FY2011 4-9

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計 (連結損益計算 書計上額)
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	10,919	12,324	5,162	28,405	110	28,515
セグメント利益 又は損失(△) (営業損失)	△86	43	△35	△78	36	△42

FY2010 4-9

	報告セグメント				その他 (注)	合計 (連結損益計算 書計上額)
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	12,615	16,238	4,074	32,927	75	33,002
セグメント利益 又は損失(△) (営業利益)	592	1,636	△7	2,221	63	2,284

(注) その他部品事業、リース、不動産賃貸、ファクタリング事業



FY2011第2四半期の実績と見通し

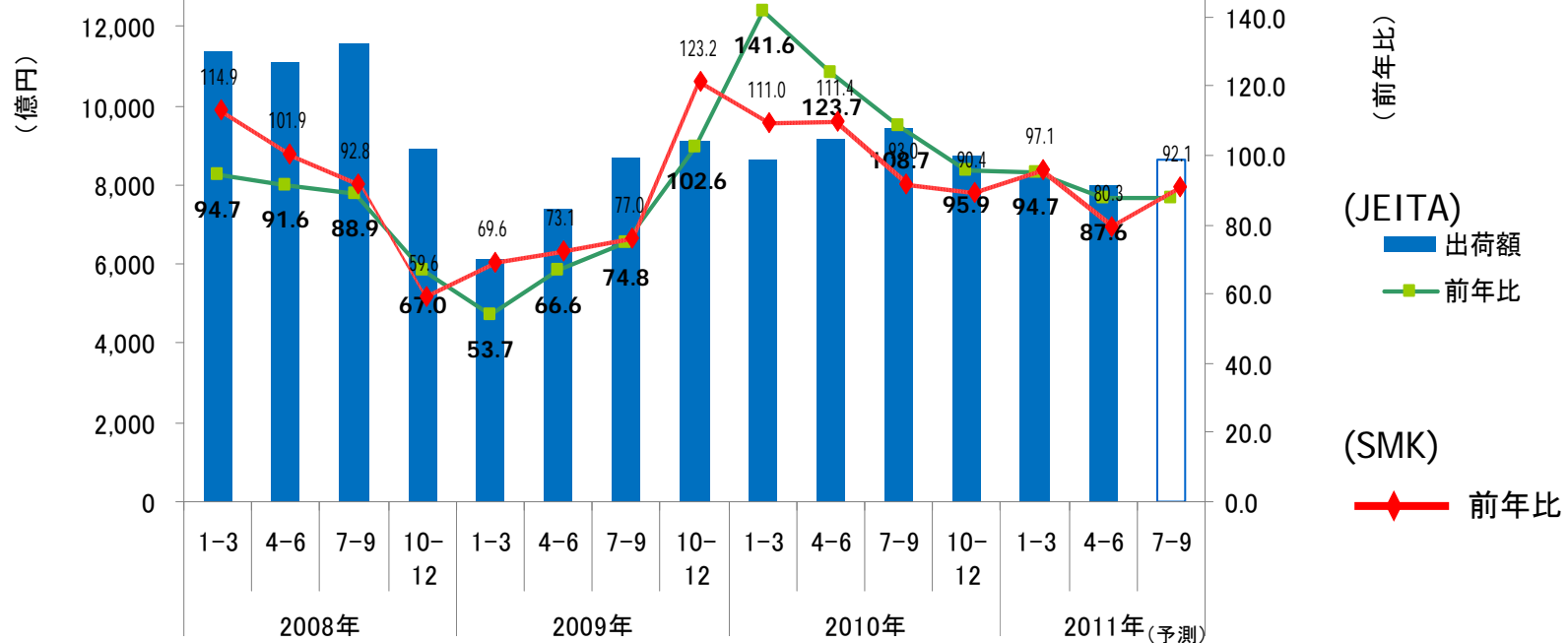
代表取締役 社長 中村 哲也



電子部品業界の景況概要 (JEITA資料)

2011年下期回復を見込みも、受注弱く先行き不透明

- 2009年実績: 3兆1, 287億円 (前年比72%)
- 2010年実績: 3兆6, 169億円 (前年比116%、2007年比72%)
- 2010年後半から薄型テレビ、ノートPC等は調整局面にある。
- 東日本大震災以降、サプライチェーン等の停滞などもあり減少傾向。

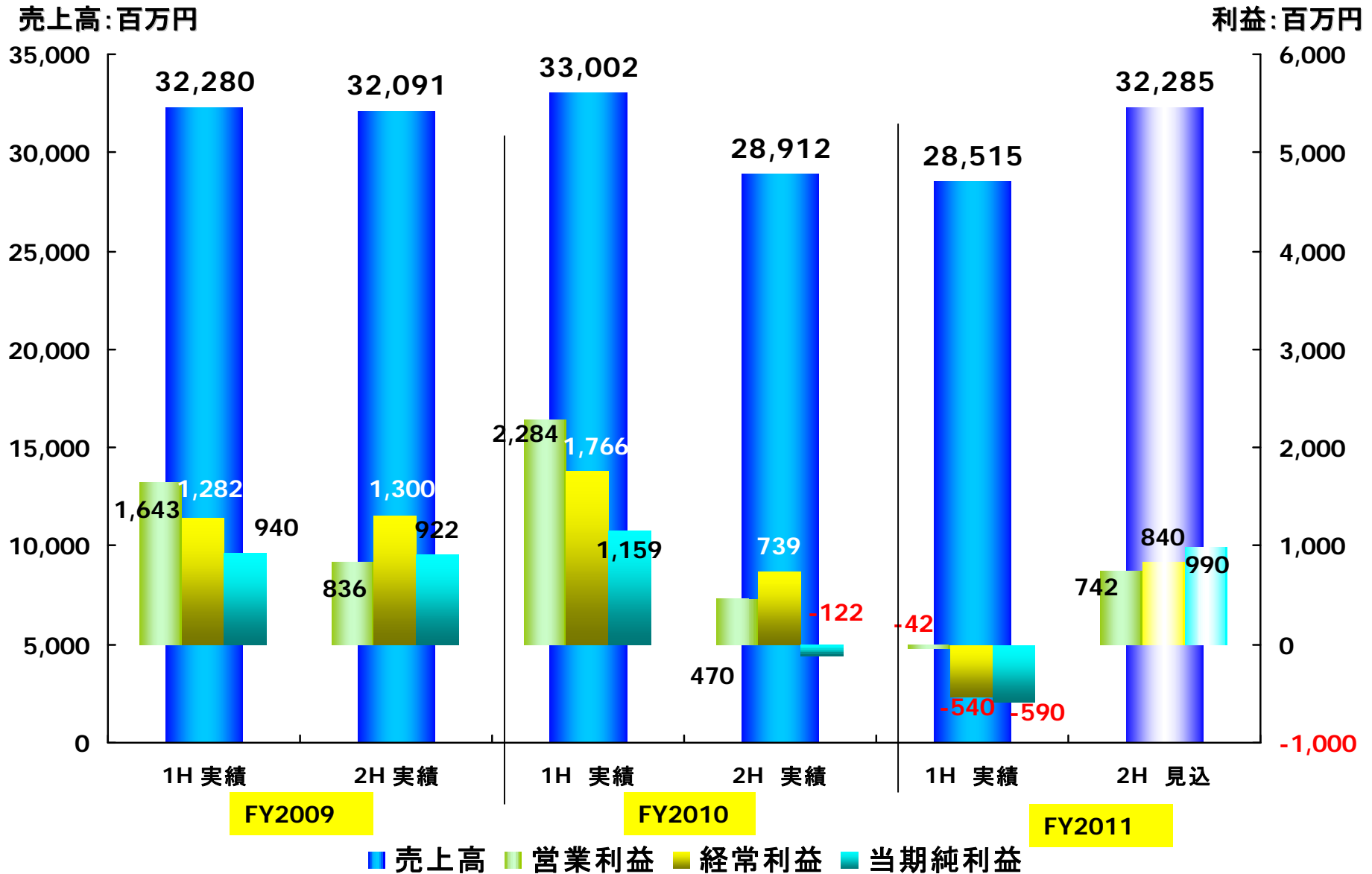


出所: JEITA





半期別 売上高、利益推移(FY2009~FY2011)



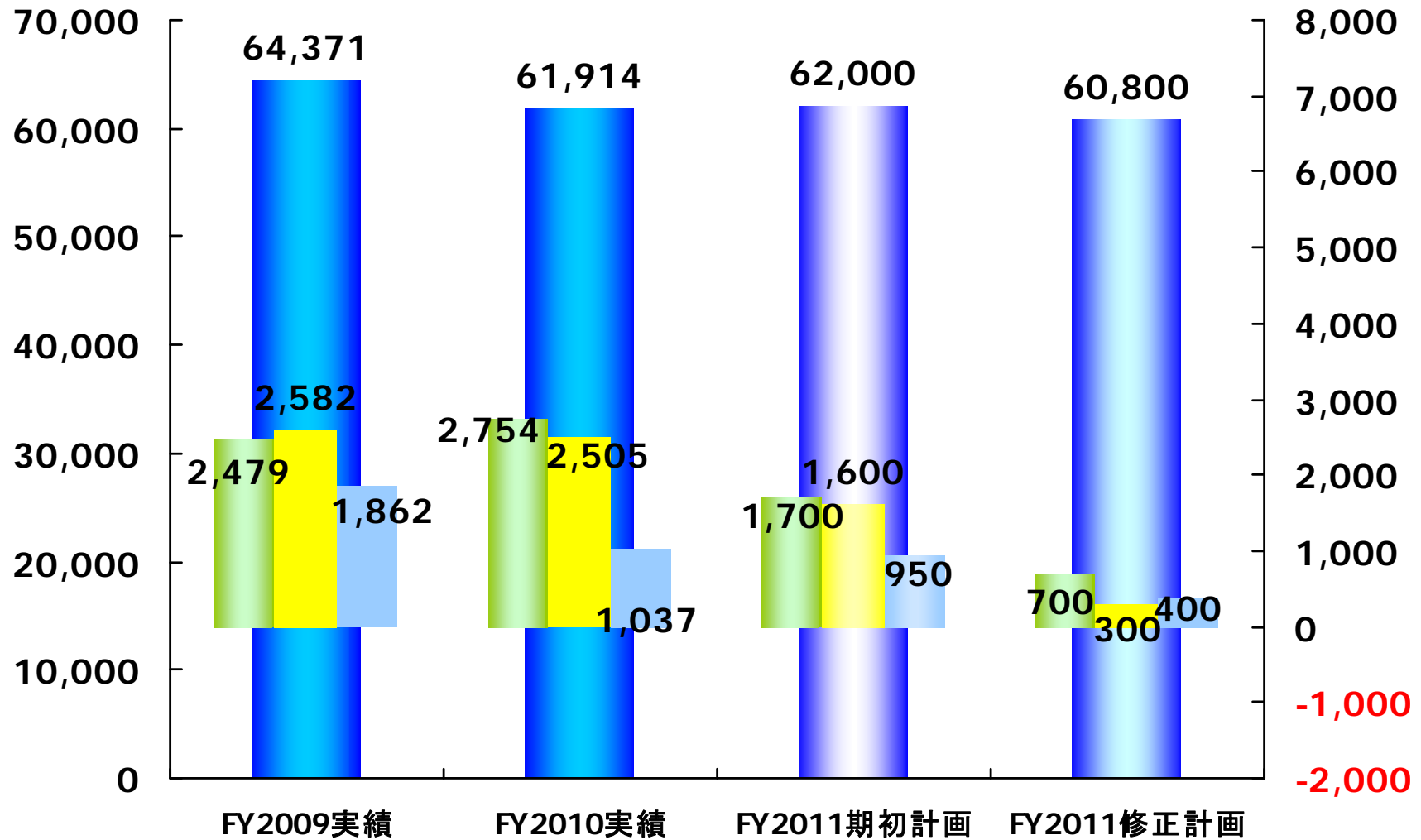


通期 売上高、利益推移(FY2009~FY2011)

17/27

売上高:百万円

利益:百万円

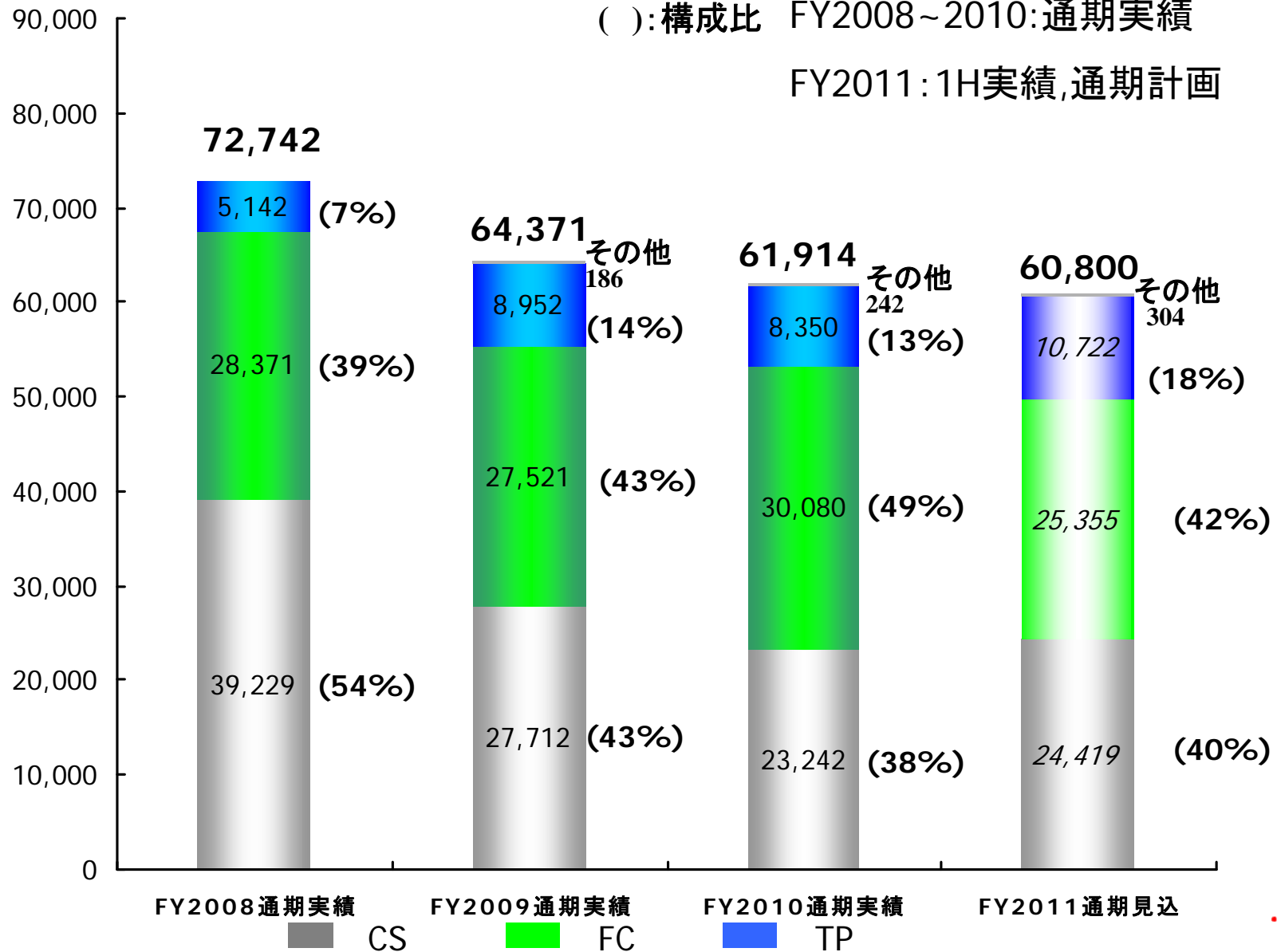


■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



事業部別売上高(FY2008~FY2011)

売上高:百万円





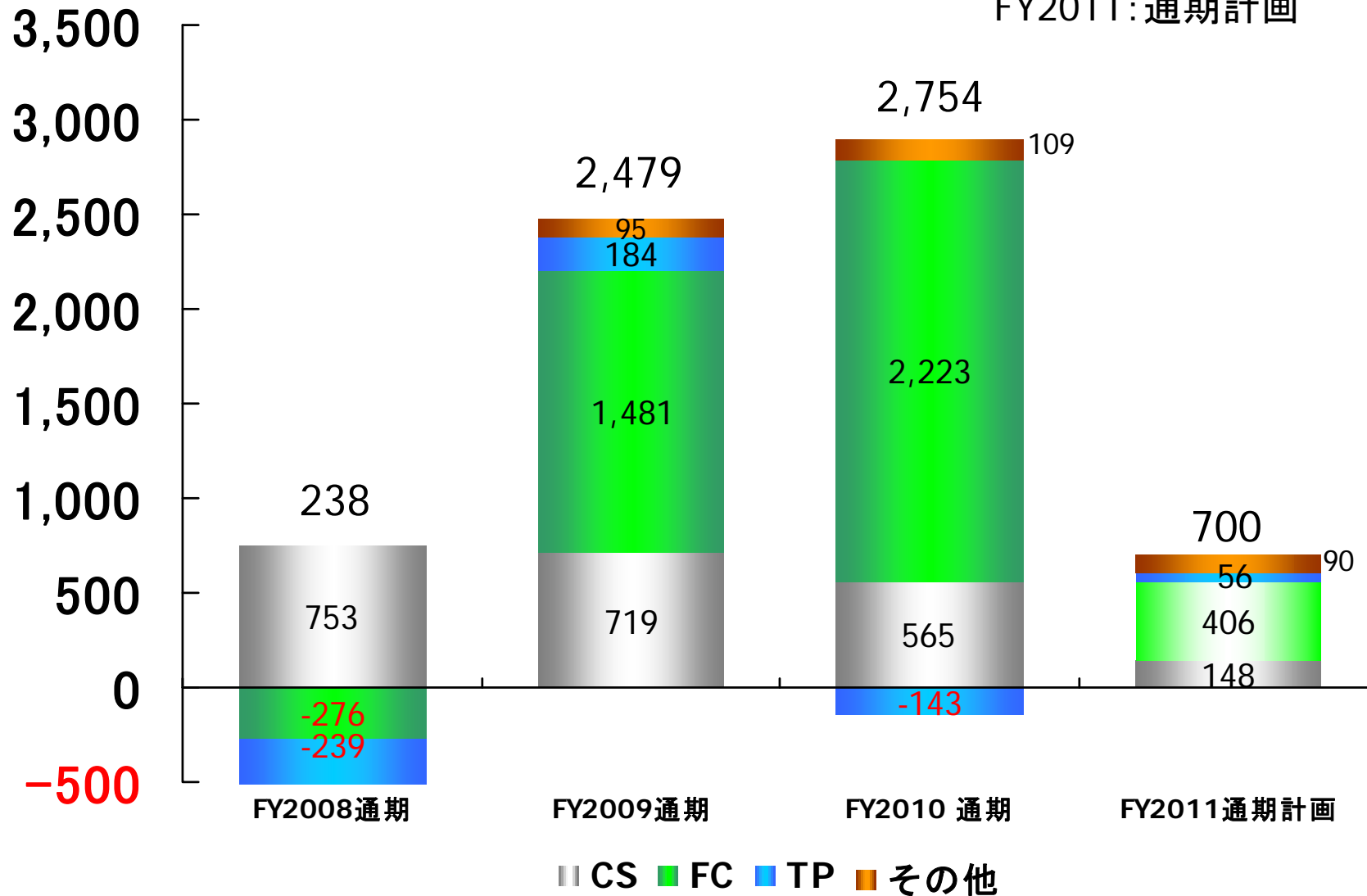
事業部別営業利益(FY2008~FY2011)

19/27

営業利益:百万円

FY2008~2010:通期実績

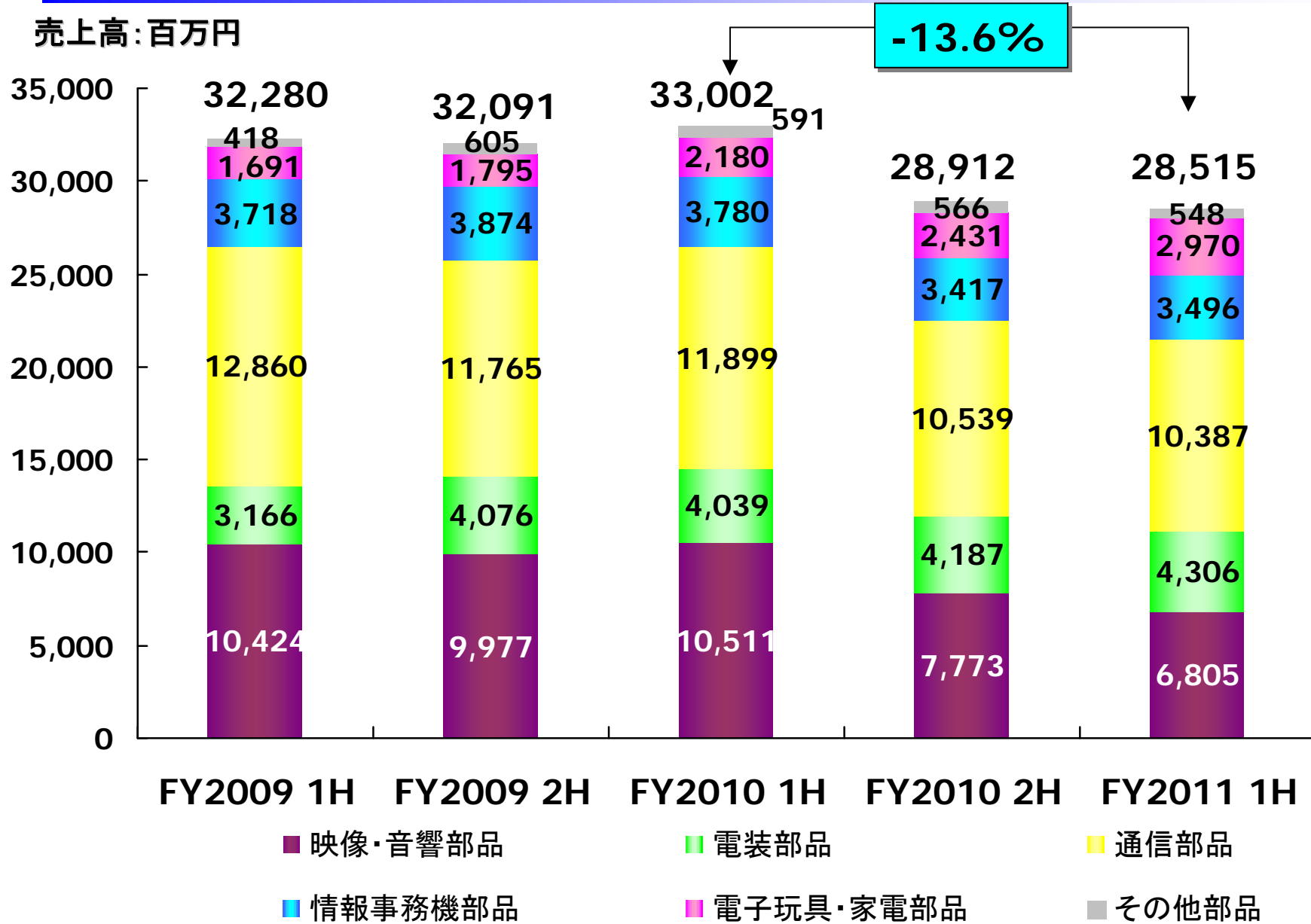
FY2011:通期計画





参考：半期別 市場別売上高 (FY2009 ~ FY2011)

20/27





- 東日本大震災の影響
- タイ洪水の影響
- 電力供給不安
- 円高
- 原材料の高止まり
- 各種の規制
- 欧米経済・金融不安



今後の方針(円高対策含む具体的アクション)^{22/27}

技術

Only One製品、No1製品の開発強化

営業

既存得意先との関係強化、新規取引先の拡大、
中国市場の強化、標準品の拡販 など

生産

現地通貨ベース調達強化 など

品質

Front Loading, Design Review強化、
ZDのグローバル展開 など



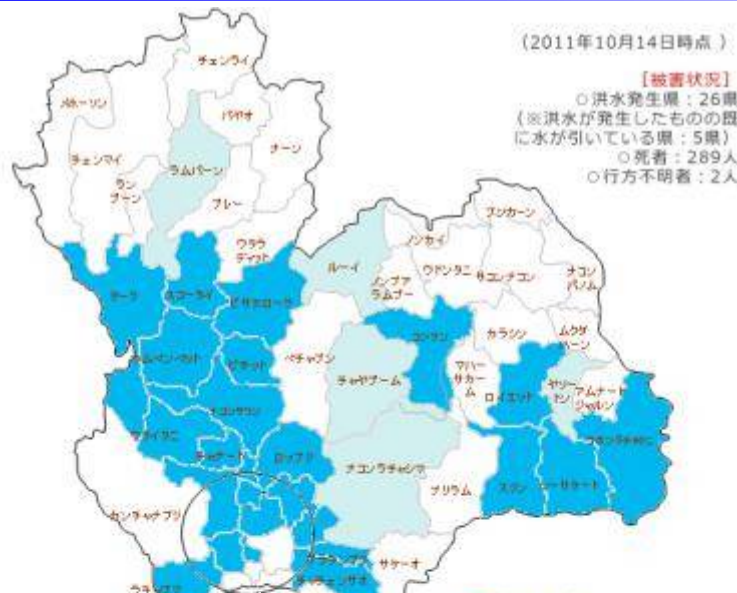
管理

事務効率の向上

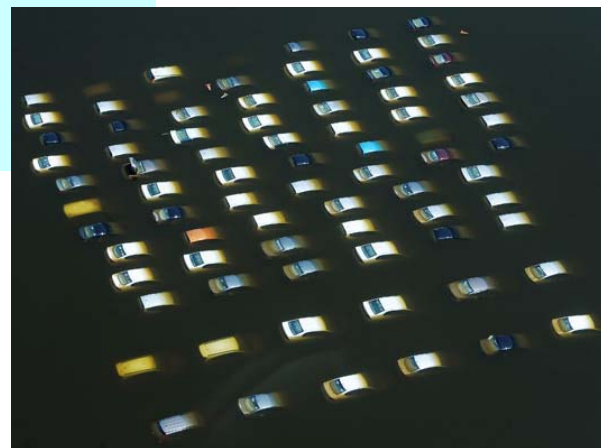


Topics-1 タイの洪水被害について

23/27

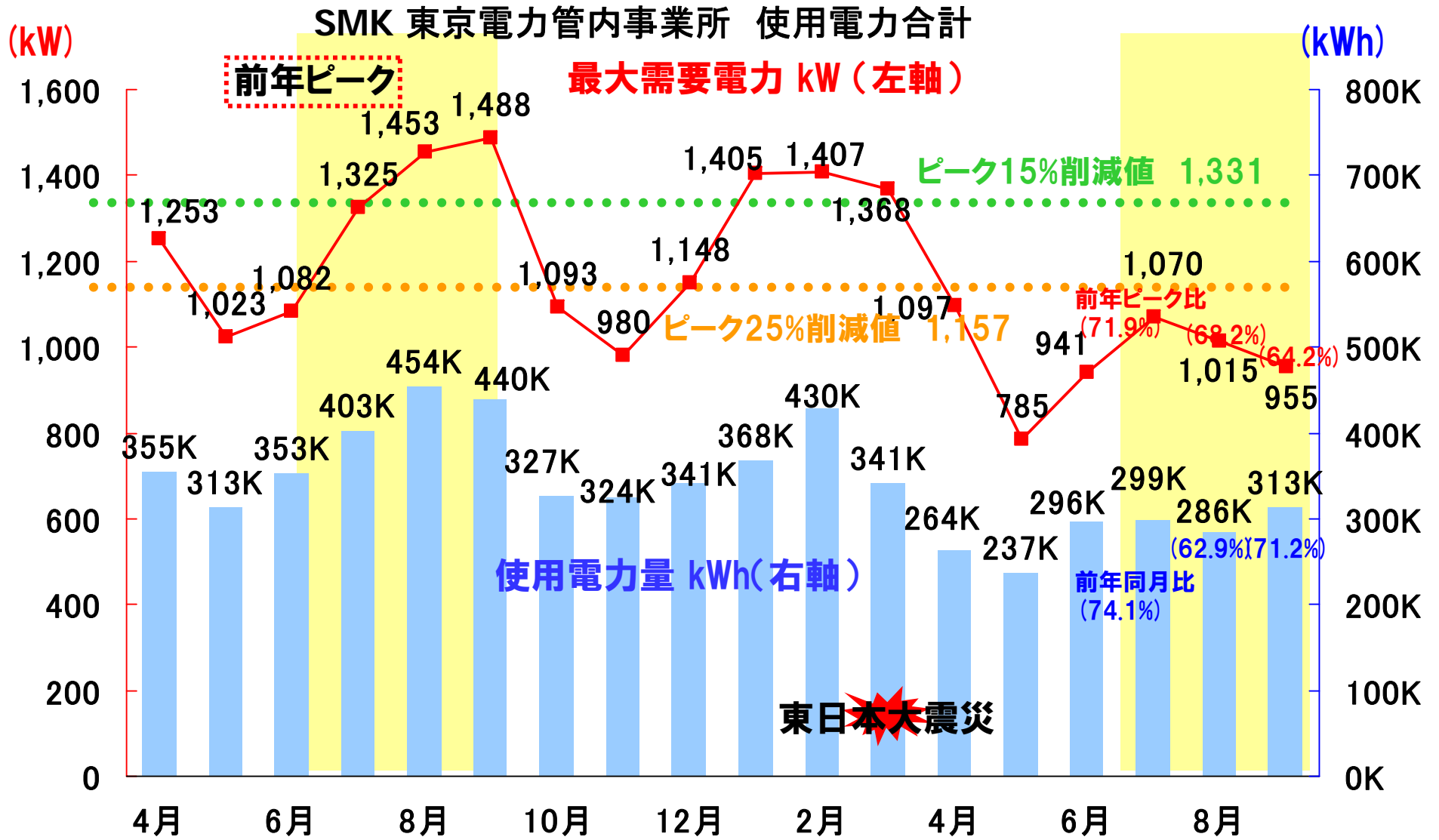


- * 日系得意先の多くが冠水・操業停止
- * 仕入には殆ど影響なし
- * 売上に影響





Topics-2 今夏の節電実績



2010年 2011年

集計対象事業所: 本社・大和・ひたち・茨城SMK・茨城プレイテイング





Topics-3 TEXPO2012開催

25/27

4年ごとに開催のSMKプライベートショー(技術展)

開催日程:2012年6月6日(水)~8日(金)3日間

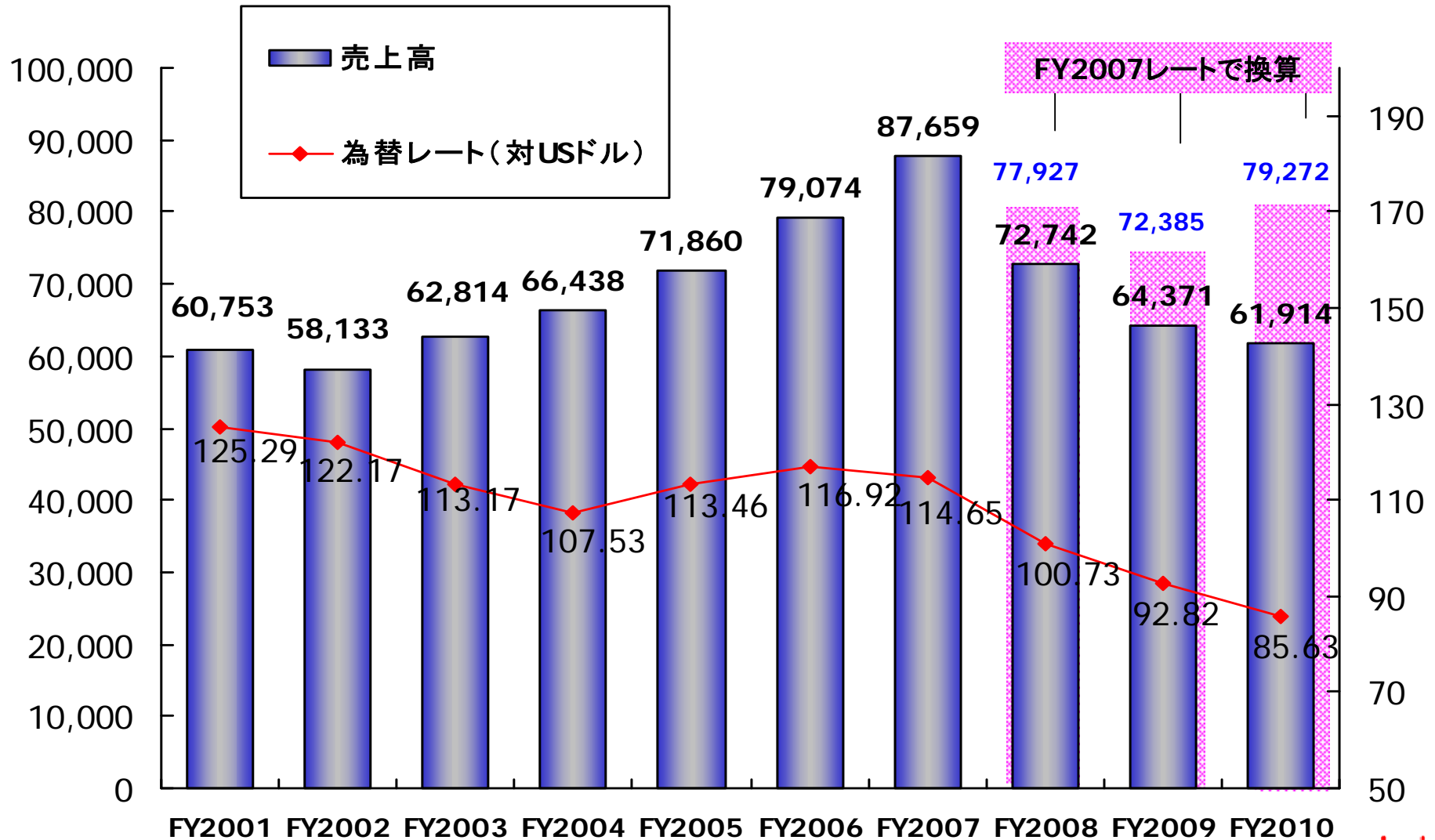
開催場所:ガーデンシティ品川(旧ホテルパシフィック東京)



売上高の過去10年推移

売上高:百万円

平均為替レート:対USD(円)





この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。